



BRUNO ABRIOUX – フィンテック(FINANCIAL TECHNOLOGY)

主にレグテック(Regulatory Technology)、フィンテック分野の組織変革と戦略的事業開発に特化した日本拠点の独立系ブティックコンサルタント会社、エンコグナイズ合同会社の創設者兼CEO(最高経営責任者)。また、1999年以来、欧州とアジア太平洋地域でさまざまなIT関連、事業関連の上級経営職として国際機関や「フォーチュン500社(全米トップ500企業)」のために働き、金融サービス業界に事業の根幹となる技術面のソリューションとサービスを提供している。2013年以降、先物、オプション、清算集中デリバティブ市場の健全な発展を支援する非営利組織、フューチャーズ・インダストリー・アソシエーション・ジャパン(FIAJ)のテクノロジー委員会委員長。理事、執行委員会メンバーも務める。2017年6月、世界のレグテック・イノベーション・エコシステムの開発をめざす新設の非営利組織、国際レグテック協会(International RegTech Association; IRTA)の上級理事および日本支部責任者に就任。

フランスのコンピエーニュ工科大学(UTC)でコンピュータサイエンス修士号(工学)取得。主専攻は自動化とリアルタイム・システム、副専攻は哲学、技術、認知。



STEVEN BASS – 不動産金融

北アジアの主要市場を中心に商業用不動産の投資とファンド運用に19年の経験をもつ。現在、オライオン・パートナーズのパートナーとして日本の不動産部門のトップを務めるとともに、中国と韓国を監督する投資委員会のメンバー。2010年から2015年まで、オライオンで実現価値650億円にのぼる2本の日本不動産ファンドと1本の別勘定を指揮。その中には同社最高の収益を上げた不動産ファンド「Japan2」(2010年)が含まれる。2006年から2010年までシービー・リチャードエリス(CBRE)グローバルインベスターズのマネージングディレクター。それ以前に買収担当取締役を務めた後、同社に復帰した。同社では経営に携わり、運用資産12億米ドルの付加価値不動産ファンド、ストラテジック・パートナーズ・アジア不動産ファンドの投資委員会のメンバーを務めた。CBREの前は、マッコーリー・グループとGMAC商業・モーゲージで東京の投資チームを指揮。

カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)で都市計画の博士号(PhD)、ヴァッサー大学で経済学の優等学士号(BA)を取得。学生時代に日本文部科学省の奨学生として学習院大学経済学部で研修活動を行い、日本語も堪能。



SAM BIRD – マーケティング

マーケティング分野での経験は、日本および国際的なコンシューマー、B2B大手向けのデジタル、ソーシャル、統合マーケティング・コミュニケーション活動の企画制作、デリバリ、分析にまで及ぶ。現在、世界最大のマーケティング、クリエイティブ人材派遣会社、エイクエントのグローバル・ソリューションズセールスのディレクターとして世界の大手クライアントと関わりを強め、デジタル・マーケティングとクリエイティブな広報活動に必要な人材の発掘を支援している。電通イージス・ネットワーク傘下のB2B領域専門広告会社ジャイロでは、ビジネス・ディレクターとして東京事務所を立ち上げ、地域の技術クライアント向けのデリバリ・チームを編成した。カスタムメディアでは、クライアントサービス・ディレクターとしてデジタル、モバイル、ソーシャル、映像、PR、イベント、プリントを含むクリエイティブ、ブランド構築、マーケティング・プロジェクトのための事業開発とデリバリのチームを指揮。

英国シェフィールド大学で心理学と認知科学を学び、コンピュータを使って人の心をモデル化する方法を研究。2005年に来日し、ケンブリッジ大学で得たCELTA(英語指導者資格)を活用して学生や専門家に言語とコミュニケーションスキルを指導。2010年、テンプル大学でブランド構築とコミュニケーションを学び、マーケティング分野に転身。さらにカナダのマギル大学で経営管理修士号(MBA)を取得し、ビジネス教育の能力を高めた。



BRIAN BURNS – データ・アナリティクス

日本、中国やそのほかアジア圏での幅広い経験やネットワークを利用して、北アメリカのハイテク企業の市場参入、販売、マーケティング戦略的資金調達などを主導して成長を加速させた。ハッシュコップ、ホートンワークス、ピクシス、サイバーソース(VISA)、マイクロソフト、アップル・コンピューターなど数々の企業の市場開拓戦略を立案、主導、販売組織の立ち上げ、営業活動に携わる。企業向けビッグ・データ分析ソフトウェア、半導体、電子決済、IoT(あらゆるもののインターネット化)などが専門領域である。

カリフォルニア大学バークレー校で、アジア各国の語学を学ぶとともに工学部卒業。その後、カリフォルニア大学バークレー校ハース・スクール・オブ・ビジネスでインターパシフィック奨学生として学び、MBAを取得。東京の慶応大学交換留学生として学んだ経験も有す。



KARL BURROW ～アントレプレナーシップ(起業家精神)

起業における戦略やイノベーション分野のコンサルタント。約30年以上にわたり、コンサルタントあるいはコーチとして企業のビジネス上、重要な役割を果たすなど確かな経験と実績を持つ。複雑な問題を解き明かし、変革をもたらす革新的解決策に対する不確実性を受け入れることにより、企業のトップや経営チームが問題を解決して飛躍的成長を達成するサポートを行ってきた。現在、東京を拠点としたマネジメント、戦略、イノベーションに関するコンサルティング会社、カール・ストーン・キャピタルのオーナーであり、慶応大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科の非常勤講師を務めている。また、シンギュラリティ・ユニバーシティにおけるビジネス・モデルデザインとイノベーション、リーンスタートアップ*、アントレプレナーシップについての講演やスピーカーとしても活躍している。

*「リーン・スタートアップ」(lean startup)とは、アメリカの起業家エリック・リース氏が2008年に提唱した、起業や新規事業などの立ち上げ(スタートアップ)のためのマネジメント手法のことメリーランド大学カレッジパーク校において理学士号を取得。



JACQUES DEGUEST –アントレプレナーシップ(起業家精神)

起業家を支援する総合的なエコシステム、エンジェルズインク(Angels, Inc.)の共同創設者で代表取締役兼CEO。同社は起業家に主要情報の提供や専門家との関係構築、資金調達面での支援を行っており、自身の専門は、特に事業開発、ファイナンス、法務。また、立ち上げまもないアジア企業(特に日本のサービス産業における)に特化したエンジェル投資会社、DEGUEST Pte. Ltd.の代表取締役で、現在の顧客は電子商取引やフィンテック、メドテック(MedTech)、ギグ産業、SaaSの企業など。

フランス国立東洋言語文化研究所でベンチャーキャピタルおよびファイナンス専攻の経営管理修士号(MBA)、国際事業法の法律修士号(LLM)(優秀な成績で卒業)を取得。



SHAI GREENBERG –不動産金融

ニューヨークの不動産投資銀行から不動産投資の世界に入り、120億米ドルを超える債務・債権取引に携わる。その後、世界的アドバイザー会社のクッシュマン・アンド・ウェイクフィールドに入社し、内外の優良企業向けに賃貸物件仲介、用地買収、資金調達、ポートフォリオ管理、投資セールスに従事。C&Wの「ブローカー・オブ・ザ・イヤー」「トランザクション・オブ・ザ・イヤー(オフィス/物流)」「ディール・オブ・ザ・イヤー(全事業ライン)」を含む複数の賞を受賞。最近では日本の機関投資家のニーズの高まりに応え、株式会社玄海キャピタルマネジメントに入社し、国際ビジネスグループの責任者としてグローバルな投資戦略と国際的な資金調達活動を指揮。また、不動産教育に5年以上の経験をもつ。

テルアビブ大学で経営および東アジア学の学士号(BA)(きわめて優秀な成績で卒業)、ニューヨーク大学で不動産金融と投資の修士号を取得。ニューヨーク州不動産販売ライセンス(非活動)を保有。



ANTHONY GRIFFIN –ライティング、マーケティング、アントレプレナーシップ

グローバル・コミュニケーションおよび異文化研修と開発に特化したブティックコンサルタント会社、Sagaコンサルティングの創設者で代表者。幅広い国際的な職業経験を活かして、フォーチュン500社幹部社員のグローバルレベルのキャリアアップを支援しているほか、若手専門家には進路変更や世界トップクラスのビジネススクールへの入学を支援。以前はカリフォルニア州リバーサイド市の職員として、年間250件以上のマーケティング・プロジェクトの作業工程を管理していた。在日米国商工会議所ではマーケティング、コミュニケーション責任者を務め、2016年のウェブサイト再建プロジェクトを指揮。

カリフォルニア大学リバーサイド校で経営管理学士号(BS)、経営管理修士号(MBA)を取得。同時に大学レベルの教育経験を積む。ビジネスライティング、プレゼンテーションスキルの課程など、キャリアを通じて自身のスキルを向上させている。



DENNIS HSUEH ～アントレプレナーシップ(起業家精神)

企業が抱える問題解決や、製品やサービスの価値を生み出す独自の組み込み人工知能を開発したシリコンバレーA.I.スタートアップ(テックスターズ18)であるImageous Inc.の共同創業者兼社長であり、Imageous Inc.日本の最高責任者(CEO)。

高速光通信集積回路設計を主に扱うシリコンバレー・フォトニック・ICスタートアップの共同創業者兼最高責任者(CEO)を務めた経歴も持つ。スタートアップ領域に踏み込む以前、世界的企業やエスアンドピー ファイブハンドレッド企業で工学や経営にも携わっていた。シリコンバレーやアジア太平洋諸国において、いくつも企業を立ち上げ、確かなマーケティング実績を残すなど国際経験が豊富。

スタンフォード大学において材質科学工学において理学修士号、国立台湾大学において化学工学の理学士号を取得。



KARSTEN KLEIN – サイバーセキュリティ

リスクマネジメント、運用、フィンテック分野の各種サービスに特化したアドバイザリー会社、KLEINK. K.の創設者でCEO。その前はロンドン(野村証券)と東京(リーマンブラザーズ、UBS、ING/NN)で金融業界に勤務。フィナンシャルリスクの管理、運用、システムに15年以上携わり、広く指導者としての経験を積む。金融業界に入る前はテクノロジーの研究開発に従事(ノーテルネットワークス、ケンブリッジ大学)。

英国のブライトン大学で電子工学学士号(工学)を、ケンブリッジ大学で電子工学の博士号(PhD)を取得。

KAZUHIRO KOBAYASHI – フィナンシャルリスク

世界の大手投資銀行およびグローバルな金融機関の1社で、日本におけるマーケットリスク・マネジメント責任者を務める。それまでは外銀、邦銀で外国為替、金利、株式、転換社債関連のトレーダーとして勤務。

慶応大学で経済学学士号(BA)、イリノイ工科大学大学院(スチュアートスクール・オブ・ビジネス)で金融の修士号(MS)を取得。



WILLIAM LAURENT – データアナリティクス

企業のITアーキテクチャ、ビッグデータ、アナリティクス、情報ガバナンスの分野で25年以上のグローバルなコンサルティングを経験。現在は日本でデジタル変革とビジネスアーキテクチャに特化したブティックコンサルタント会社(FujiGain)を経営。米国で国家情報マネジメント(National Information Management)の代表を務めたほか、ニューヨーク市立大学バルーク校とコロンビア大学でデータウェアハウス、データアナリティクスのクラスを担当。多くの会議や基準委員会のほか、「インフォメーション・マネジメント・マガジン(Information Management Magazine)」「ダッシュボード・インサイト(Dashboard Insight)」などの出版物にも頻繁に寄稿。

テンプル大学で学士号(BA)を取得後、ウェスト・チェスター大学で美術修士号(MFA)を取得中。長期にわたり多くの日本の非営利組織を支援しており、その代表例はニューヨーク市のジャパン・ソサエティー。



DENNIS LUDENA – サイバーセキュリティ

現在、ITSRC, AIGT K.K.で情報セキュリティグループのマネジャーを務め、。チームのあらゆる業務タスクの管理とSecOps(セキュリティオペレーション)関連プロジェクトの支援を手掛ける。その前はITSRC, AIGT K.K.の情報セキュリティグループのSIEM(セキュリティ情報イベント管理)、崇城大学のアハハリ教授研究室で博士研究員、熊本大学で客員研究員および博士研究フェロー。来日前はペルー、リマにあるピサピグ(Pisapig)のSAFELINEで技術支援と販売に従事。

ペルー、アレキパのセントメアリ・カトリック大学(Saint Mary Catholic U.)で電子工学学士号(BS)を取得。日本文部科学省の奨学金留学生として熊本大学で情報セキュリティの修士号と博士号(PhD)を取得。



DARREN MENABNEY – プロフェッショナルライティング(英語)

現在、株式会社リコーでグローバルな組織開発の取り組みを主導し、リコー社員10万人の意欲の向上とグローバルな企業文化の育成に従事。また、グロービス経営大学院のMBA講座の教員。2011年に来日する前は20年以上にわたりカナダ政府の業務に従事し、政府と企業や学界間の連携を構築する渉外分野を担当。TEDxのスピーカーであり、Fastcompany.comの寄稿者であり、IDEO Uのデザイン思考とストーリーテリングのコーチ。自らの信念は人と人、人とアイデアを結びつけること。

トロント大学で天体物理学学士号、東京のグロービス経営大学院で経営管理修士号(MBA)を取得。



MARK MILLER –アントレプレナーシップ

2年前にヘルスケア製品の開発製造、対米輸出を行う企業を立ち上げ、その経営に従事。材料の大半を日本で調達し、製造販売は米国で行っている。それとは別にフィンテックとアグリテック分野に関する日本経済新聞のスタートアップ・イベントに協力しているほか、企業の社内研修プログラムで企業金融と財務会計を指導。投資銀行で25年間債券を担当。その前は公認会計士。東京のセントメリーズ・インターナショナル・スクールを卒業。1980年に南カリフォルニア大学で会計学学士号(BS)、1987年にシカゴ大学ブース・スクール・オブ・ビジネスでMBAを取得。



MAURIZIO RAFFONE – フィンテック (FINANCIAL TECHNOLOGY)

ドイツ銀行グループのクレジット取引統括チームにおいて、日本を拠点としてクレジット・デリバティブ・ストラクチャラーを担当。ユニクレディトにおいて、常務取締役兼クレジット・ストラクチャリング・リパッケージ*の責任者、Dresdner Kleinwort(現在のコメルツ銀行)において、アジア太平洋地域のストラクチャード・クレジット商品の責任者を歴任。その後、ロンドンに拠点を置くマネジメント会社、TriSpan LLPの共同経営者および、投資部門副最高責任者兼クレジット・アンド・スペシャルシチュエーションズ**の責任者を兼任。2018年3月より、フィンテックのコンサルティング・アドバイザー会社、Finetiqの最高責任者(CEO)を務める。

* 有価証券等を担保にした上で、その有価証券等のキャッシュフローを組み替えて新たに債券を発行すること

**ヘッジファンドなどが行う、特殊な状況に着目した投資戦略

ロンドン大学ロイヤル・ホロウェイ校においてケンブリッジ大学において、経済経営学の学士号、ケンブリッジ大学において金融経済哲学の修士号を取得。



NAMI SAKAI – プロフェッショナルライティング(英語)

現在、東京に拠点を置く国際的なクリエイティブエージェンシーのクリエイティブサービス担当ディレクターを務め、すべての部門間の橋渡しを行う組織上きわめて重要な立場にある。20年以上の海外在住経験を活かし、多面的な視点からの現状打破や日本の労働力の構造的、文化的変化を奨励。東京に戻る前はニューヨークで広告代理店のプロデューサーとして世界的に有名な才能あるクリエイターと協働し、ファッションと美容のグローバルキャンペーンを展開。「コスモポリタン」誌の編集員時代にはライターやグラフィックデザイナー、スタイリスト、コピーエディター、広報担当者など、異分野の人々との連携を楽しんだ。

ペンシルベニア州立大学で美術史学士号(BA)、ニューヨーク大学プロフェッショナル学部でグラフィック・コミュニケーションズ・マネジメントおよびテクノロジーの修士号(MA)を取得。



FLAVIO SOUZA – マーケティング

受賞歴のある起業家、マーケッター、教授、積極的なテクノロジー擁護派、ライター。フルサークル・イノベーションズ(FullCircle Innovations)の創設者兼CEOでもある。

日本の国際大学でダブルマスター(MBAとe-Biz)の学位を取得。